

## 風の森

## 検証→改善→検証→改善の取り組み

今やっていることはベスト？

業務全般において、今やっていることはベストなのか？改善の余地がないのか検討していきたいと思います。前年度踏襲。今まで通り。考えなくてもよいのでそうした考えに陥りやすいと思います。しかし、改善の余地が無いはずがありません。改善することで支援の質が向上したり効率化されたりするものと思われれます。

変えることには抵抗感はつきものですが、変えることによって必ず新しい風が吹き、職場のモチベーションがあがるものと思います。

今やっている支援はベスト？

車いすに乗車したまま測れる体重計。ノーリフトケアの導入。インカムの導入等々が良い例です。利用者さんにとっては安心感があったり、支援者の負担が軽くなったり、あるいは業務の効率化につながったことと思います。

今年は活動室の使い方に若干の変更があり、それに伴って支援のやり方にも変更があります。より良い支援を目指す変更を積極的に検討していきたいと思います。

家庭との連携を密に

場合によっては家庭での介護の様子を保護者から聴き取りながら自分たちの支援の参考にしたり、反対に自分たちの支援を家庭に伝えたりしながら、結果として支援の質が向上したということが理想であると思います。家庭の中のことに関しては質問しづらい面もありますが、必要なことであるので信頼関係を築きながら連携を密にしていきたい思います。

業務改善提案を積極的に

上記のことを達成するために、業務改善提案がだされることを期待します。

(文責：大場保治)